

徳田 玉龍 (1883~1958)

福岡県朝倉市出身の近代日本画家。1883年に甘木の本町に生まれた。円山四条派を学び、21歳で展覧会に入選、26歳で大分県の耶馬渓を描いた個展を開催した。27歳で朝鮮半島に渡り、名勝・金剛山に魅せられ、山に籠って多くの作品を描いた。終戦後、62歳で帰国するも絵筆を置くことなく新たに富士山に題材を求めた。そして、様々な表情の富士を十巻の巻物にまとめた大作《富嶽百景》を完成させる。昭和天皇への拝謁の機会を待ちつつ病に倒れ、1958年に74歳で永眠した。

◆施設利用案内

開館時間:9 時 30 分~ 16 時 30 分(入館は 16 時まで) 休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)

交通アクセス:大分自動車道「甘木 IC」から車で約5分(駐車場有)/ 西鉄甘木線「甘木駅」・甘木鉄道「甘木駅」より徒 歩約 15分

所在地:〒838-0068 福岡県朝倉市甘木 216-2

Tel/Fax: 0946-22-7515

甘木歴史資料館



郷土の日本画家

徳田玉龍 FINAL

―霊峰への憧れやまず―

朝倉市出身の近代日本画家・徳田玉龍。当館では平成 26 年に遺族から作品と関係資料の寄贈を受けたことを機に、毎年新春に玉龍作品を紹介する展示を行ってきました。6 回目を迎える今回は、「郷土の日本画家・徳田玉龍 FINAL」と銘打ち、これまでの研究成果をまとめる総括展を開催します。常に山に目を向けた玉龍の活動は大きく三期に分けられます。九州に滞在し耶馬渓を探勝した前期、日韓併合を機に朝鮮に渡り写真家の兄とともに金剛山を舞台に活躍した中期、敗戦後に帰国し富土山に傾倒した後期。本展ではこれらの三期について、初出展となる館外所蔵品も含めて紹介し、激動の時代を力強く生きた画家・徳田玉龍の生涯と作品の全体像に迫ります。



《富嶽百景》第十巻より「籠坂峠」



《神龍将昇天》絵馬(田神社蔵)



《金剛山萬物相玉女峰》

会期中のイベント

◆ギャラリートーク

《玉龍窟》

日時: 1月23日(土)、2月13日(土) 各回14時~/30分程度/無料/申込不要

会場:甘木歴史資料館第二展示室

◆講座「郷土の日本画家・徳田玉龍」

日時: 1月17日(日) 14時~16時 無料/定員50名/要電話申込

会場:ピーポート甘木 第4・5学習室

◆冬休み子ども歴史教室

「プラ板で玉龍ブローチづくり!」

日時:2月28日(日)

110 時~211 時~313 時~414 時~

会場:甘木歴史資料館

各回定員5名/材料費100円/先着順/要電話 申込 ※1月9日(土)9時30分から申込開始

各種申込先…甘木歴史資料館(☎0946-22-7515)